

中学1年生と小学4年生の息子の
子育てに日々奮闘中！

2021年1月発行
vol.14

佐賀市議会議員
社会市民クラブ



市政報告

富永あけみ 通信

新しい年明けを、皆さまどのような気持ちでお過ごしだったでしょうか。昨年は、新型コロナウイルスに何かと我慢を強いられた一年となり「今年こそは」と、収束への期待や普通に日々過ごせることへの希望を抱いておられる方も多いのではないでしょうか。一日も早く、この閉塞感から抜け出して明るさを取り戻せるよう、議会の中でも力を尽くしてまいります。

11月定例会では
どんなことが決まったの？

主な事業



公式ホームページ 更新中！

富永あけみ

検索



<https://www.tominaga-akemi.com/>

路線バス・タクシー事業者に支援金を支給

バス事業者

市営バス:300万円+バス1台につき15万円/月
昭和・祐徳・西鉄バス:100万円+バス1台につき5万円/月

タクシー事業者

法人:30万円+タクシー1台につき5万円
個人:15万円+タクシー1台につき5万円

ひとり親世帯に再度、臨時特別給付金を支給

1世帯5万円+第2子以降1人につき3万円

小中学校の児童生徒へのPCを購入

13,246台分。9月定例会で予算がついた分で
今回の購入になります

文化会館・メートプラザ・老人福祉センター等
15施設の「指定管理者」を決定

バイオプラスチックを使用した
ボランティア清掃用ごみ袋の製作

公民館の予約が
オンラインでも可能に！

今月の富永さんち

昭和の人



「昭和レトロ」ブームがおこっているらしい。

昭和世代の私からすれば懐かしさと温もりを感じる「古き良き時代」の記憶が蘇ってくるのだが、息子たちからすれば新鮮さそのものなのだろう。令和の時代になり早いもので3年。穏やかな日々が戻ることを願いつつ、新しい年も“全集中”で頑張ります！

議会でこんなこと質問しました！



富永

TOPIC 1

子どもへのまなざし運動の更なる推進を！

平成20年にスタートした、子どもへのまなざし運動。※1

佐賀市では、市民総参加で子どもの成長を見守っています。しかし、運動の認知度が伸び悩んでいる現状もあり、対策が必要だと考えます。



「まなざし条例」の有効活用を！

佐賀市には「佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例(通称：まなざし条例)」という素晴らしい条例がある。この運動をより広く知つてもらうために、成人式での新成人の宣言や、母子手帳への掲載などを考えるが。



教育部長：成人式での取組は、運動を改めて知るきっかけになり大変有効だと思う。

新型コロナの状況も鑑み、来年度以降、実行委員会に諮り検討していきたい。母子手帳への掲載は、担当部局とも調整し、どんな形で掲載できるか検討していきたい。



企業の取り組みとして

まなざし企業に登録している企業数は増えているが、運動の中身が見えてこないといった声も聞く。平成31年2月定例会で、「まなざし休暇(授業参観やPTA活動、地域活動の際などで休みやすい雰囲気づくり)」の普及提案をしたが、その後どうなったか。また、子どもに親の働く後ろ姿を見せることは、それを理解してもらうことにも繋がると思うので企業の取組の一つである「お父さん・お母さんの働く職場参観デー」を更に啓発してはと思うが。



教育部長：「まなざし休暇」については登録企業に協力依頼している。アンケートの結果、取得状況は伸びており啓発の成果が出ていると感じる。「お父さん・お母さんの働く職場参観デー」については、今年度は新型コロナウイルス感染症で実施できなかったという企業も多かった。今後は新型コロナの状況を見ながら、引き続き啓発を継続していきたい。

※1 子どもへのまなざし運動とは？

全ての人が子どもの育成に関心を持ち、主体的にかかわる社会の実現を目指し、平成20年にスタートしました。子どもを育む4つの場「家庭・地域・企業・学校」で大人の役割を定め、4つの視点「命・自立・他者とのかかわり・子どもを取り巻く環境」から行動指針を提案しています。



詳しくは
佐賀市
HPへ

中村新教育長にも、
これからの新しい時代の
「子どもへのまなざし運動」の
展望についてお聞きしました！



中村 教育長

子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、教育を学校だけで担うのは難しいと感じる。

健やかな子どもの成長には、人と人との関わりがとても重要であり、全ての人が力を合わせ子ども達を共に育てていくことが必要不可欠。家庭、地域、企業、学校がそれぞれの役割を果たすように努め連携していくことが重要。新しい担い手の育成も重要。

また、新型コロナウイルス感染症もあり、人と人との直接的な関わりが薄れがちな時代である。子どもへのまなざし運動を通して、大人同士が共に手を取り合って子どもの健やかな成長を見守り「豊かな自然と子どもの笑顔が輝くまち佐賀」を是非作り上げていきたい。

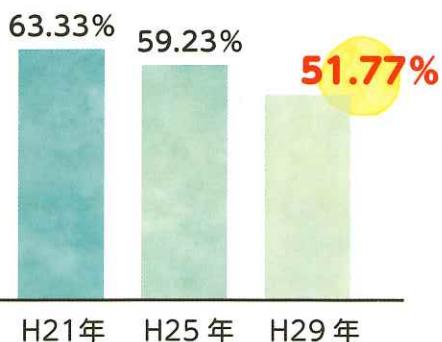
投票環境・投票率の向上を！

投票率の低下が叫ばれて久しい。令和元年7月の参議院議員選挙では佐賀市における投票率が42.16%と50%を下回り、民主主義の根幹である選挙に過半数の人が参加していないということは危機的状況といえます。

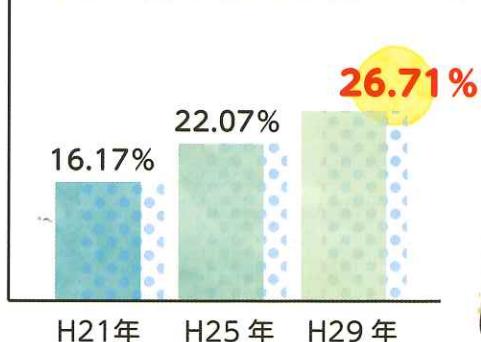
今年は佐賀市長・佐賀市議会議員選挙が行われますが、その投票率も危惧され、何かしらの対策が必要だと考えます。



佐賀市長・佐賀市議選挙の投票率



それに占める期日前投票の割合



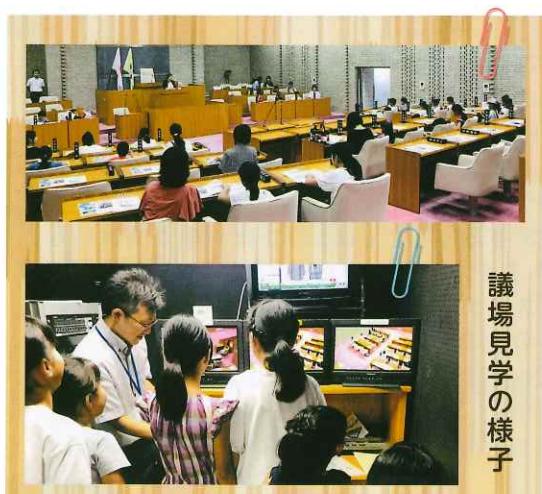
このままでは
投票率が50%を
切るのでは？
何とかしたい！



こんなことを意見・質問・提案しました！

※詳しくは、富永の
HPのブログにも記
載しています！

- ケガや体調不良などで外出できない場合、今の制度では投票の機会がない。対策を。
- 不在者投票できる「指定施設」に個人病院も対象とするよう市からも県へ要望を。
- 特に投票率が低い「子育て世代」への対策を。
- 義務教育からの主権者教育が必要。
- 全小中学校で「議場見学」を実施して欲しい。



議場見学の様子

子育て世代に対する啓発は重要であり、小さなうちから親子で選挙や政治などに関する意識を育んでもらうことが将来の投票率の向上につながっていくものと考える。



中村選挙管理委員会
事務局長

小中学校における主権者教育の充実、親子が家庭で選挙や政治、社会問題について話す機会をもってもらうための啓発チラシの配布、選挙特集号など様々な啓発において「子どもと一緒に投票に行きましょう」との呼びかけなど推進していきたい。

＼ 期日前投票と不在者投票は同じではありません！ ／



期日前投票

本人が投票所に行き、期日前投票宣誓書を記入し投票。



不在者投票

事前に選挙管理委員会へ投票用紙を請求し、指定された投票場所で投票。市外に行かれる場合は、滞在先の市区町村の選挙管理委員会。病気や身体の障がい等の場合は、指定施設(病院・介護老人福祉施設)や自宅など。

初めての防災キャンプ

10月11日

藤木公園花壇で収穫祭

10月18日

佐賀県防災士会として、防災キャンプをしました。

私の担当は「非常食体験」アルファ米やレトルト食作りを体験していただいた後、実際に食事へ。キャンプを通じ普段から「楽しく」慣れていれば、いざという時に役立ちます。



夏に植えていた「紅あずま」をみんなで掘りました。「サツマイモは手入れは不要」というのを信じ、ただただ見守るだけでしたが見事な育ちっぷり。コロナで行事の中止が相次ぐ中、青空の下で子ども達の歓喜にも包まれました。



おうちでバルーン

11月1日

文教福祉委員会視察

11月11日

残念ながら中止になったバルーンフェスタ。しかし、佐賀の空を楽しみにされていた皆さまへの思いから、佐賀バルーンフェスタ組織委員会さんがイベントを企画されました。思わぬ市街地フライトに感動！ありがとうございました。



兵庫町少年の主張大会

11月14日

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

12月8日

新型コロナの影響で、市大会が中止されるなか、例年の半分の人数で校区大会を実施しました。

毎年ながら、子ども達の率直で新鮮な視点にハッとさせられます。その想いを実現できる社会にしていかなければ、と感じます。



「障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に関する条例」について宮崎市を視察しました。聴覚障がい者、視覚障がい者だけでなく、全ての市民に向けてコミュニケーション手段を意識する内容に思いやりを感じました。佐賀市も続いていたらと思います。(現在、所管事務調査中)



富永 あけみ プロフィール

- ・昭和48年12月1日生まれ
- ・佐賀商業高校、日本大学卒業
- ・平成29年10月佐賀市議選初当選（現在1期目）
- ・党派：無所属 会派：社会市民クラブ
- ・所属委員会ほか：文教福祉委員会、議会広報広聴委員会、佐賀駅周辺調査特別委員会、議会ICT推進担当、森林・林業活性化促進議員連盟、佐賀市都市計画審議会審議員
- ・所属団体ほか：自治労佐賀県本部特別執行委員、佐賀市職労特別執行委員、兵庫町青少年健全育成会理事、子育て議員連盟、佐賀県女性議員ネットワーク

編集後記



この通信を編集しているのはまだ師走。12月生まれの私にとってこの季節はキラキラ感が増すのだが、今回はなんだか不完全燃焼。誕生日すらもその気分に浸ることなく終わった。閉塞感一。

新型コロナの影響はどこまで続くのだろう。ワクチンがそろそろできるらしいが、このコロナ禍で気付いたこともある。AIやオンラインだけでは測れないもの、環境に順応できる力、普通であることのありがたさ、緊急事態宣言中の空の青さ、等々…。

さて、新しい年のテーマを何にしようと考えるが「毎日を一生懸命」とここ数年同じテーマに落ち着く。

任期最後の一年もその想いを忘れずにいきます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



発行元：富永 あけみ

連絡先：〒849-0919 佐賀市兵庫北2-1-10
TEL/FAX 0952-77-9307
✉ sorairo.at1201@gmail.com

あけみ通信のバックナンバーもご覧いただけます

公式ホームページ

<https://www.tominaga-akemi.com/>



ご意見・ご要望は左記連絡先まで
お願ひいたします。